

岩手教区報

第360号
 立教185年12月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



一年を顧みて三年千日へ 主事・三陸支部長 高橋邦之

今年も国内外で様々な出来事がありました。2月には、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が開始され、世界に衝撃を与えました。現在も戦争状態は続いており、和解や終結の糸口さえも見えない悲惨な状況にあります。7月には、近鉄大和西大寺駅付近にて、元総理大臣が選挙演説中に銃撃され死亡する事件が発生しました。事件後、特定の宗教団体と政界との関係が問題視され、連日のように報道されています。新型コロナウイルスは、オミクロン株に置き換わった第6波から第7波、そして現在は第8波の中にあり、感染者数の累計は日本で2千400万人に、世界では6億3千万人にも達しています。教区内に目を向けると、4月には、天理大学と天理市が連携し、3人のウクライナ避難民を受け入れ、支援を行っています。「学生生徒修養会」、「春の学生おぢばがえり」の3年ぶりの開催、少年会の「夏休み子どもひのきしん」など、おぢばでは感染対策に配慮しながら再開された行事も多々ありました。岩手教区においては、各部各会がコロナ禍の活動を模索し、オンラインも利用しながら活発な動きがみられました。5月に開催された献血ひのきしん

は、地域の方々も多数来場され、採血数もこれまでにない成果を挙げることができました。このイベントを通して、地域活動の重要性と今後の方向性を感じられた方も多かったのではないのでしょうか。当支部では、5月より支部例会にて、『三代真柱お言葉 教会内容の充実』の輪読を実施してきました。「心もおぢばを向いて」、「私がやらなければの精神でおたすけを」、「一番苦心し信念のある人に」、「まず自らが育つ努力を」、「先頭切っておつとめに関心を」などのお言葉を拝読し耳からも聞かせて頂くうちに、あたかも前真柱様がひざを突き合わせて、諄々とお説き下さっているかのように、教会長の心得るべきお言葉が胸に迫ってきます。三年千日へ向かう心づくりの場として、前真柱様の「教会内容の充実」への思いを学ばせて頂いた有難く貴重な時間となりました。本年秋季大祭に於いて御発布下された「論達第四号」の冒頭にて真柱様は、「全教の心を一つにしたい」と直々にお話し下されました。まずは教会、家族、地域、それぞれの心を一つに合わせることに専心し、三年千日の歩み出しに相応しい活動につとめ、ご存命の教祖にお喜び頂けるよう、心を尽くしたいと思えます。



「すみきる(角切る)・
 澄みきる) 信仰」

教祖140年祭に向かい、「論達第四号」がご発布されました。教祖の年祭活動は、何より心のほこりを払う事であると思えます。ほこりを払うためには、おたすけ活動に心を尽くすことが肝要でありましょう。つまり、他人の役に立つことを行なう、喜んでいただく生き方を努力して実行することであると思えます。

教祖の年祭活動は、親神様のお働きを戴きやすい時句であるとも教えられます。つまり一歩も二歩も前進させていた

だけの心の旬とも申せましょう。さて、ほこりは誰にでもありません。そのほこりを払うことが信仰の基本であると思えます。教祖は人間の幸せを願い、人々に心のほこりを払うことを諭されています。ある時、参拝の人々に対して教祖は、「人間の心はこの金平糖のように

角がたくさんあり、その間にほこりがたまる。金平糖を口に入れると溶けて丸くなるように、人間の心もこの道の話聞くことにより丸くなるのや」と仰せられました。またある時は、「こんなに角のある固そうな金平糖でも、口に入れば唾に溶けて角が取れて丸くなるのや。人間も金平糖のように角が取れて丸くならなあいかなのや」と諭されました。斯かるお諭しから先人は、「お道の信心は金平糖信仰でなければならぬ。入信前は癖や性分といった色々な角があつても、ぬくみと水気の親神様のご守護をいただき、角が取れて丸くなるように、癖や性分が取れ、丸い心の人間になる。また、澄み切るとは、四角の四隅を切つたら丸くなる姿であり、四角の時と丸くなつた時とは姿形が変わってくる。すなわち、溶けて形が変わる金平糖のように人間が変わらなければ、信心していると云えない」とも諭されています。

花巻分教会前会長中田俊次(元教区長)先生の信仰随想「法楽」は、今月号で終了します。4年の長きに渡りご執筆いただき、誠にありがとうございました。広報部

「みおしえ学習会」開催報告(11月分)
 二戸 23日(水・祝) 荒澤分教会 7名
 「フアンリテーター 滝浦 剛」

献血呼びかけひのきしん

左記の通り「クリスマス献血」の呼びかけひのきしんを行います。

日時 12月3日(土)
 10時~16時30分
 場所 イオンモール盛岡南

行事予定 [12月分]

- 1日 役員会(10時)
- 3日 献血呼びかけひのきしん(10時)
- 11日 雅楽初心者講習会(10時)
- ” 女子青年例会(10時)
- 16日 行事調整・予算会議(10時)
- 17日 学生会総会(10時)
- ” 学生担当委員会例会(13時)
- ” 青年会例会(19時)
- 18日 少年会例会(20時)





物解体及び廃棄物搬出作業であり、解体班と運搬班に分かれての作業となった。現場は道路に面しておらず搬出路も狭いため、重機や車両が入ることが出来、全て手作業



養生設置、建物解体、廃棄物仕分及び搬出作業。木材約6t、金物類約600kg搬出。参加者数 九戸13人、二戸1人、盛岡5人、花巻2人、三陸9人、奥州10人、県南7人、婦人会員7人。合計54人。

「教区訓練」報告
災害隊岩手教区隊では、10月28日から30日にかけて、三陸支部内の旧田老分教会において教区訓練を実施し、隊員ら54人(延べ91人)が参加した。28日は、先発隊の教区班有志による足場組立と養生シート張りを行った。29日9時30分より現場近くの駐車場で行った結隊式では、鈴木眞彦教区長、千葉道雄隊長の挨拶に続いて、日課説明、作業内容と役割分担が事務局より説明された。今回の作業内容は、旧田老分教会の建



災害隊

「教区訓練」報告

「第38回岩手教区学生会総会」【12月17日】
教区学生会では、左記のように「総会」を開催します。次代を担う学生層の若き力を結集して、勇んだ総会にさせて頂きたいと思えます。
日 時 12月17日(土) 10時
内 容 おつとめ・式典・交流行事
参加御供 500円
参加対象 高校生・大学生・専門学校生・中学生

「第38回岩手教区学生会総会」【12月17日】
学生担当委員会

「雅楽初心者講習会」【12月11日】
教区祭事部では、左記のように「雅楽初心者講習会」を開催します。初心者、経験者の皆さんの参加を願います。
日 時 12月11日(日) 10時～15時
会 場 教務支庁
参加御供 500円



祭事部

「雅楽初心者講習会」【12月11日】



少年会

「第49回少年会岩手教区団 おつとめ総会」報告



少年会岩手教区団では、去る10月16日(日)第49回おつとめ総会を開催し、少年会員20人(内わかぎ5人)育成会員25人、計45人が参加した。教務支庁に集まったの総会は3年ぶりで、コロナ感染拡大も考慮し、今回は半日のプログラムでの開催となった。10時より親神様、教祖、祖霊様を礼拝し、育成会員による座りづとめ、少年会員によるよろづよ八首を勇んでつとめ、その後の式典では少年会長様の御告辞、高橋邦和主事のご挨拶をいただき、会員代表者のお誓い、最後に少年会の歌をみんなで歌い、式典を締めくくった。その後、アトラクションとして「ビンゴゲーム」折り紙をして楽しいひと時を

少年会岩手教区団では、去る11月6日(日)わかぎの集いを開催し、中学生5人、育成会員4人が参加した。今回は、防災を学ぶため宮古市田老地区の震災遺構等をめぐり、津波遺構として保存されている「たろう観光ホテル」でのDVD鑑賞やツアーガイドによる震災当時の話を聞かせて頂いた。その後ゴミ拾いのひのきしんをさせて頂き、昼食後解散となった。少人数の参加者ではあったが、子供たちの真剣に話に聞き入る姿が印象的で、貴重な体験を通して防災を学ばせて頂いた有意義な集いとなった。



「わかぎの集い」報告
少年会岩手教区団では、去る11月6日(日)わかぎの集いを開催し、中学生5人、育成会員4人が参加した。今回は、防災を学ぶため宮古市田老地区の震災遺構等をめぐり、津波遺構として保存されている「たろう観光ホテル」でのDVD鑑賞やツアーガイドによる震災当時の話を聞かせて頂いた。その後ゴミ拾いのひのきしんをさせて頂き、昼食後解散となった。少人数の参加者ではあったが、子供たちの真剣に話に聞き入る姿が印象的で、貴重な体験を通して防災を学ばせて頂いた有意義な集いとなった。

「岩手つこだよ!全員集合」報告
教区青年会では、10月23日(日)「岩手つこだよ!全員集合!inおぢば」を実施し、おぢばに在住する学生、本部勤務者など7人が参加した。当日午前10時、南礼拝場前に集合。はじめに鈴木眞彦教区長のご挨拶があり、その後神楽にておつとめを勤め、廻廊拭きひのきしんをさせて頂いた。続いてお茶所前に移動し、お楽しみ企画として岩手に関するクイズ、箱の中身当てゲーム、ビンゴ大会をして、同じ岩手に繋がる者同士の親睦を深めた。その後昼食を配り、解散となった。



青年会

「岩手つこだよ!全員集合」報告

「岩手つこだよ!全員集合」報告
教区青年会では、10月23日(日)「岩手つこだよ!全員集合!inおぢば」を実施し、おぢばに在住する学生、本部勤務者など7人が参加した。当日午前10時、南礼拝場前に集合。はじめに鈴木眞彦教区長のご挨拶があり、その後神楽にておつとめを勤め、廻廊拭きひのきしんをさせて頂いた。続いてお茶所前に移動し、お楽しみ企画として岩手に関するクイズ、箱の中身当てゲーム、ビンゴ大会をして、同じ岩手に繋がる者同士の親睦を深めた。その後昼食を配り、解散となった。

